

大阪市立 瓜破 小学校



住所 〒547-0024 大阪市平野区瓜破 5-3-11

連絡先 ☎ 06-6709-4920 📠 06-6799-1037

校長 谷本 隆 **開校** 明治7年

URL <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751724>

🚩 教育目標

ありのままの自分が受け入れられ、
安心し、心満たされる居場所づくりをとおして、
子どもも大人も成長できる学校をめざす

🚩 重点目標

自分の課題に気づき、課題に向き合い、解決する力を育てる。
相手の立場に立って考え、認め合い、思いやる仲間づくりに努める。
健康や体力に関心をもち、自分を大切にする姿勢を育てる。

🚩 めざす子ども像

- (1) 心と体を大切にする子 (健康)
- (2) 自分に向き合える子 (誠実)
- (3) 思いやりのある子 (親切)

運営に関する計画

【概要】

【安全・安心な教育の推進】

- 全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日の50%以上にする。
- 教員が児童の前で健康で生き生きと働くことができ、児童一人ひとりに向き合う時間を確保するように取り組む。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の児童アンケートにおける「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を100%にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 大阪市経年調査において、算数科における「学力に課題の見られる児童」の割合をいずれの学年も0.5ポイント減少させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査において、「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%にする。

校長先生からのメッセージ

瓜破小学校では、教育目標を『ありのままの自分が受け入れられ、安心し、心満たされる居場所づくりを通して、子ども大人も成長できる学校をめざす』とし、それを実現するために、教職員・保護者の皆様・地域の皆様が一体となって教育実践を進めています。全校児童317名全員、元気いっぱい、みんながつながり合える学校をめざしています。笑顔あふれる学校をつくるため、子どもたち一人ひとりに対する適切な指導と支援を充実させていきます。ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

校長 谷本 隆

令和5年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	平均正答率(%)
57	46	

●結果と概要／

国語、算数ともに全国平均を下回った。国語は約10ポイント、算数は約16ポイント下回っている。領域別では、国語科では「言葉の特徴」「情報の扱い方」について6～7ポイント低く、それ以外の項目では2桁ほど低くなっている。算数科ではすべての領域で2桁以上下回っており、特に「A 数と計算」では21ポイント下回る結果となった。

●取組の成果と課題／

【国語】全国平均と比べ大きく差があった部分は「B 書くこと」の領域の記述式の問題であった。以前から本校の児童は記述式の問題を苦手を感じているようである。ただ「知識・技能」の観点においては少しずつ改善がみられている。児童質問紙「国語の勉強は好きだ」の項目においては全国比プラス9ポイントになっており、児童の意識も改善していることがわかる。

【算数】全国平均と比べて20ポイント以上下回った問題は6問あった。その内4問は「A数と計算」の領域であった。学びサポーターと協力し、放課後学習なども行いながら基礎基本の定着に努めている。

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	14.12	15.32	33.08	30.12	32.96	9.72	133.32	19.00	44.08
女子	14.33	12.92	37.17	29.38	29.29	10.11	124.50	13.71	45.54

●結果と概要／

女子のソフトボール投げで全国平均を上回った以外、全国平均を下回っている。体力合計点は全国比は男子(-8.51)、女子(-8.74)であり、昨年度と比較しても下がっている。

質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」の肯定的な回答状況は92.0%(全国92.9%)であった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合は16.3%であり、昨年度からは改善がみられる。

●取組の成果と課題／

【成果】

体育の授業をはじめ、休み時間にも外に出て元気に遊ぶ姿が見られるようになった。休み時間などにも主体的に運動に取り組めるよう「楽しく」運動できる機会を設けたことでソフトボール投げについては伸びがみられている。

【課題】

運動能力テストでは男女ともに反復横とび、20mシャトルランで全国平均に大きく水があいた。また昨年度と同様、持久力で差がみられた。ここ数年の校舎新築工事、コロナ禍などにより運動する機会が減った影響はまだ大きいといえる。「楽しく」運動できる機会を設け、主体的に運動に取り組めるように、冬場に体育委員会を中心に楽しく外で遊べるような企画を実施している。

学校の特徴

温かい地域力「うりっこまつり」

地域の皆様には、毎日の安全な見守り活動をはじめ、子どもたちのために支援や協力をしていただいています。毎年、PTA主催で地域にも協力してもらい「うりっこまつり」を開催しています。綿あめ、おでん、ポップコーン、射的、スーパーボールすくいなど、たくさんの模擬店が出ています。



ICTの活用

様々な場面でタブレットを有効に使い学習しています。児童は学習者用端末を持ち帰り、家庭学習などにも活用しています。

このような取り組みが認められ、2024年度より引き続き「学校情報化優良校」と認定されました。

